



磐二小だより

磐梯町立磐梯第二小学校

令和2年12月25日

第9号

発行責任者 佐久間 仁

☆教育目標「自己を拓き 共に生きる 健康で品性の高い子ども」
○自分から学びます ○共に磨きます ○互いに鍛えます



思い出いっぱい！充実の2学期



学校の周りにも雪が積もり、本格的な冬の訪れを感じる季節となりました。
緊急事態宣言に伴う長期休業の短縮により、例年よりも長い2学期ではありましたが、お陰様で、誰一人感染症にかかることなく、全校生が元気に過ごすことができました。感染拡大防止にご配慮いただきましたこと、心より御礼申し上げます。

1学期から延期となっておりました6年生の修学旅行や5年生の自然教室では、実施にあたり、ご家族の皆様にご協力いただきましたことにも改めて感謝申し上げます。

連合運動会の代替行事として実施しました校内マラソン記録会（運動発表会）およびフリー参観では、目標に向かってひたむきに頑張る子どもたちに温かい声援を送っていただき、ありがとうございました。子どもたちは体力テストでも昨年度を上回る好成績を収めることができました。

生き生きフェスティバルは、児童鑑賞日と保護者鑑賞日を別日に設定し、人数制限を設けるなど、例年とは異なる形での実施となりましたが、皆様のご理解、ご協力のおかげで、無事開催することができました。PTA 会長さんはじめ常任委員の方々には、用具の出し入れや換気、消毒等、児童と保護者の安全・安心のためにご尽力いただきましたこと、感謝申し上げます。

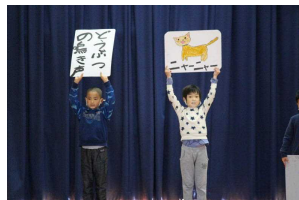
本日の第2学期終業式では、子どもたちに次のようなお話をしました。

「2学期始業式で思い描いていた”なりたい自分（自分がしたいこと）”は実現できましたか。…

夢や希望をもち、何事に対してもやる気を出して本気になって取り組むことで、私たちは大きく成長することができます。修学旅行や自然教室、マラソン記録会（運動発表会）、生き生きフェスティバル（学習発表会）での皆さんの学びや頑張りは素晴らしいものがありました。心も体も頭も大きく成長した皆さんに拍手を送りたいと思います。…まもなく新しい年がやって来て、みなさんは4月には1つ上の学年に進級・進学します。自分が達成したい新たな目標を一人一人がしっかりと心に留め、冬休み、そして3学期も感染対策をしながら、元気に過ごせるようにしましょう。」

明日からは、子どもたちが楽しみにしている冬休みが始まります。今年の冬休みは例年とは違ったお正月やクリスマスになるかもしれませんが、子どもたちが家事や大掃除を手伝うなど、家族の一員としての役目をしっかりと果たせるようご配慮いただけますと幸いです。

来たる2021年（令和3年）がご家族の皆様にとりまして、希望に満ちあふれた素晴らしい年となりますよう心よりお祈りいたします。どうぞよいお年をお迎えください。





力を合わせて

11月17日、3、4年生が校外学習に出掛けました。町屋の鈴木さんの畑でトマトの片付けを体験してもらいました。4つの班に分かれて、どの班が早く片付けられるか競争しました。支柱はあらかじめ片付けてあり、抜きやすい状態になっていたものの、何本もつるが絡まってなかなか抜けません。トマトの苗は子どもの背丈以上に長く、大騒ぎをしながら楽しく作業を進めました。抜き残しのないように仕上げもしました。

収穫して終わり…ではなく、次の植え付けのために様々な作業が必要だと体験することができました。磐梯町の達人のもとで多くのことを学んだ1年でした。



りんご農家見学



11月24日、3年生が社会科の学習で入倉のりんご園を見学してきました。りんごの種類やりんごづくりについて、田中さんからたくさんのお話を聞いてきました。

田中さんの畑では75アールの敷地に23種110本のりんごを育てているそうです。今の時期、真っ赤に色づいた「ふじ」がたわわに実っていました。自分の家でりんごを育てている子はいないため、りんごの花が5つも咲くことや、育て方、もぎ取り方などを教えていただき、驚きの連続でした。

今後、社会科の教科書に載っているいちご農家の仕事とも比較しながら、農家の仕事について調べたことをまとめていく予定です。



よく噛むと…

11月18日、毎日の給食の献立を考えてくださっている栄養教諭の鈴木先生が、よく噛んで食べるとどんなよいことがあるか、詳しく教えてくださいました。

- ①食べ物がよい栄養になってくれる
- ②食べ過ぎを防いでくれる
- ③食べ物の味がよく分かる



この3つの働きは、元気な心と体をつくるためにも大切なことです。

よい歯をつくるためにも、元気な心と体をつくるためにも、しっかりとよく噛んで食べたいものです。目指せ！一口30回！

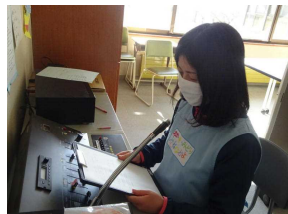
むし歯ゼロを目指して

11月30日、よい歯の教室を行いました。町の保健師さんと歯科衛生士さんがたくさんの方のことを教えてくださいました。

- 1年：6歳臼歯の確認
- 2年：6歳臼歯の磨き方の確認
- 3年：歯の生え替わり、前歯部の磨き方
- 4年：小臼歯の磨き方
- 5年：歯肉の状態の確認
- 6年：歯肉炎について、PHについて



歯の磨き方を丁寧に教えていただきました。ご家庭でももう一度歯の磨き方を確認してみてください。むし歯ゼロを目指しましょう！



1月のおもな予定

- 1月8日（金）第3学期始業式
- 12日（火）全校朝の会（めあて発表）
- 14日（木）避難訓練
- 18日（月）短縮5校時（職員会議）
- 19日（火）集金・貯金日 人権教室
給食指導（食育）
- 25日（月）全校朝の会（講話）
- 26日（火）校内スキー教室
（アルツ磐梯スキー場）



1月のめあて

◎ 生活のリズムを取りもどそう

- 時計を見て生活しよう
- 室内での遊び方を工夫しよう
- うがい・手洗いをしよう



◇ 今年、鼓笛隊は一度もお披露目する機会に恵まれませんでした。3月の移杖式に向けた練習が始まりました。楽器の扱いや音の出し方等、二小のよき伝統を引き継げるよう練習に励んでいきます。乞うご期待ください。

学校評価アンケートへのご協力、ありがとうございました

この度の学校評価アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。

詳細については、後日お知らせしたいと思いますが、学校の取り組みに対しておおむね良い評価をいただいたものと考えております。

特に、「⑨学校は、学級だよりやブログ、広報などで学校の様子をよく伝えている」「⑬授業参観日や懇談会などには、できるだけ参加するようにしている」は平均 3.7 点（4 点満点中）と最も高い数値となりました。また「⑩学校は、整理整頓され、安全で美しい環境づくりに努めている」「⑫学校や学級から配付される文書などは、必ず見るようにしている」は平均 3.6 点と二番目に高い数値となりました。

これは、子どもたちの学校での学習や生活の様子に対する保護者の関心の高さを示す結果だと考えております。また、今年はコロナ禍で新しい生活様式が求められる中、安全・安心な学校生活を送ってほしいという保護者の願いも関係しているのではないかと思います。

一方で、「②お子さんは、進んで学習に取り組み、授業がわかりやすいと感じている」「③お子さんは、基本的な生活習慣等が身に付いてきている」は平均が 2.9 点と最も低い数値となりました。

「⑥家庭で子どもが行っている学習について、できるだけ確認するようにしている」「⑦家庭でも基本的な生活習慣を大切に、正しい習慣が身に付くよう言葉かけなどをしている」が平均 3.1 点と二番目に低い数値となりました。

「早寝早起き朝ご飯（朝うんち）」「食べたら歯磨き」「ゲームは 8 時まで、2 時間以内」「ながら（食事・学習・歩行）メディアはしない」等、学習・生活習慣に関する事項は学校でも折に触れて指導しておりますが、まだ十分身に付いているとは言えない実態もあるようです。

今後も、家庭との連携を図りながら、感染予防も含めて望ましい生活習慣がしっかりと定着するように見守っていききたいと思います。

【昨年度より評価が上向いた項目】

- ⑦教師は、家庭への連絡や意思疎通をきめ細かく行っている。
- ⑨学校は、学級だよりやブログ、広報などで学校の様子をよく伝えている。
- ⑬授業参観日や懇談会などには、できるだけ参加するようにしている。
- ⑭ P T A 活動や地域行事には積極的に参加するようにしている。
- ⑮学校に関する意見や要望等は、その都度学校に知らせている。



おいしく食べるには

1 2 月 1 1 日、キャリア教育として 6 年生が「プロから学ぶ」遠隔授業を行いました。

キッコーマン本社（千葉県野田市）の広報担当の方に、醤油には 3 0 0 種類もの香り成分があること、基本的な作り方は昔も今も変わっていないこと等を教えていただきました。あらかじめ送っていただいた醤油粕のサンプルのにおいを嗅ぐ等の活動も体験しました。

醤油の魅力を学んだ後は、食育として「おいしく食べる」秘訣について、友達と話し合いをしました。おいしく食べるには、家族みんなで食卓を囲む、楽しい話題で（笑顔で）食事をする、家族のために自分でも何か作ってみる等、いろいろな考えが出されました。



民報出前授業

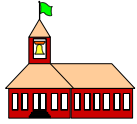
1 2 月 1 4 日、福島民報社の方を講師にお招きして、5 年生が新聞を題材に、情報について学ぶ授業を行いました。

正しい情報を提供するために、新聞記者がどのように取材をしているのか、記事を書く際にどのようなことに気を付けているのか等、現場での仕事の様子を詳しく教えていただきました。

実際に新聞を読み、気になる記事について自分の考えをまとめ発表もしました。

新聞以外にもインターネットやテレビ、ラジオ等から得られる情報の中から、正しい情報を見極めること、情報を発信するときは責任をもつこと等、情報の取扱いについて考えを深めることができました。





「磐梯の教育」運営協議会が開かれました



磐梯町では、平成30年に町の幼稚園、小・中学校がコミュニティ・スクールに指定されるのに伴い、保護者代表や地域代表、学識経験者、関係機関代表者で構成される「磐梯の教育」運営協議会がスタートしました。

17日に、今年度2回目の協議会（全体会）が開催されました。会では、まず校長から今年度の学校経営について説明をしたり、意見や感想をいただいたりしました。その後、少人数に分かれて、各テーマについての話し合い（熟議）が行われました。

「地域と学校との協働活動」というテーマの下、委員の方からいただいた話の一部を紹介します。

- ・ 地域と共にある学校づくりのため、地域の方と一緒に活動する機会を設けてきたが、今年はコロナ禍のために様々な活動が制限され、活動の縮小や変更、中止を余儀なくされた。「ヒトは人を浴びて人となる」という言葉があるが、人とのかかわる活動は、子どもたちの人間性や社会性、いわゆる“非認知力”を高めるために大切なことと考える。今後、コロナが収束することを前提に、学校が地域と共にどのような活動をしていけばよいか忌憚のない意見をいただきたい。
- ・ 二小は地域とのつながりが強い学校という印象がある。例えば運動会は消防団をはじめ地域の方が集う一大イベントとなっている。
- ・ 二小の子どもたちは、昔から人前に出ても、あまりものおじしないという印象がある。地域の中で大切に育てられてきているためではないか。
- ・ 地域のお年寄りに対しても～さん家のおじいちゃん、～くん家のおばあちゃんというように親しみをもって接しているのではないか。
- ・ お年寄りから子どもまで、地域の異年齢の人々が自然に交わる雰囲気があるように思う。
- ・ あのと、お世話になった方・・・というふうに見ることができる素地があると思う。

中略

- ・ 磐梯町の人との出会いを通じて、その良さに気付いていくということが大事だと思う。
- ・ 磐梯町の人と親しく話ができるという関係ができれば町の良さを実感できるのでは。
- ・ 磐梯町の良さが分かれば、この町に生まれてきてよかった。この町で生活できてうれしいという気持ちが育っていくのではないか。
- ・ 自分の町の良さを知り、その町で暮らす喜びはその人の根っこになる部分だと思う。ふるさとを大切に思う心をもつ人は、大きくなってもしっかりと自分の人生を歩んでいける（ぶれない生き方ができる）と思う。
- ・ そのために、地域住民（運営協議会）ができることは何か考えていきたい。
- ・ 学校の方からもこんなことをしてほしい、こんなことをやってくださいという声があれば、地域住民としても動きやすくなるのではないか。
- ・ 学校としては、先生方はもちろん、子どもたちにも地域の方々が学校（先生）や子どもたちのことをこんなに真剣に考えてくださっているということを伝えていきたい。今後、コロナが収束し、通常の教育活動ができるようになることを願いつつ、次年度以降、地域と共にどんな活動ができるか先生方と話し合いを重ねていきたい。

入賞おめでとう!

《会津ユネスコ100文字コンクール》

- 【協会長賞】 5年 穴澤優里子
- 【優秀賞】 6年 永幡 陽起
- 6年 遠藤 南雛
- 【佳作】 6年 鹿又慎太郎
- 6年 加藤 歩
- 6年 佐藤アリス
- 6年 加藤 大翔
- 6年 森島 陸



《第9回尾瀬書展》

- 【燧ヶ岳賞】 6年 森島 陸

《歯科衛生図画ポスターコンクール》

- 【優秀賞】 3年 加藤 綾乃

《ふくしまを七文字で表そう 絆ふれあい事業》

- 【学校賞】 磐梯町立磐梯第二小学校

書き初め練習会

17日、3～6年生が体育館で書き初めの練習をしました。東山小学校の早川一人教頭先生を講師にお迎えし、感染対策をしながら合同で行いました。

子どもたちは、試し書きをして手本と見比べ、注意する点を見つけて、そこを意識しながら練習に励みました。講師の先生に筆使いを実際に見せていただいたり、よくできた箇所を丸をもらったりして、少しずつ上達していることを実感していました。

今後、教えていただいたことを生かして、冬休みの書き初めにも一生懸命取り組んでほしいと思います。

